

# 高退協ニュース

## 全国3000万署名

### 県スタート集会開催

九月三日署名スタート集会が高知城ホールで開催されました。初めに主催である「子連」代表から「学校に居場所のない子、行けない子等の声に耳を澄まして、子供の願いに答えられるような体制や少人数級を作ることが大切である。国として子供の側にたつた政策・条件整備を進めてもらいたい。そのためにこの署名を多くの方から頂き、国に届けましょう」と訴えられました。

講師として迎えた石元全教委員長さんから、「三千万署名の成果と課題」について講演がありました。

石元氏は「これまで課題として、少人数級の実現、私学助成の運動をしてきたが、〇四年度〇五年度の政策を動かす迄に運動が進んできました。少人数級では、全国的に大きく前進してきました。今では四十五道府県に広がっています。

高知県でもこの運動によって、少人数級が実現してきて、更に前進面を見せています。署名の広がりを受けて、五月九日当時の文部科学省大臣が、何らかの形で少人数級を検討することを表明しました。

八月に文科省が概算要求を出した。その中には、定数改善、国庫負担の増額、私立一、不登校への対応、私学助成の増額等があります。この概算要求に基づいて世論と対話し、実現に向けて署名等をスタートすることである。

政府は、「行革の名の下で国庫負担の削減が云われてる中、子供と教育を守る」と位置づけて、署名活動や子育ての運動のため世論と対話し、いよいよ「う。」と成果と課題を述べられました。

その後事務局からの行動提起や母親・教職員から決意表明があり集会を終了し、署名行動に移りました。

### 05年度加入者

今年の退職者は十二名で再任でお二人が現役で残られ、十名の内の六名の方が加入されました。益々お元気で活躍くださいますよう願って、共に頑張りましょう。

小松信喜 (高知農・私費)  
溝淵乃婦 (高知商定・国語)  
高橋泰宏 (東工・工)  
樋口勇雄 (山田・社)  
矢野昌弘 (高岡定・体)  
河野孝允 (宿毛工・工)

## 機関紙「こうたいきょう」原稿募集

短歌・俳句・随筆・小論文等

2000字以内

戦後60年、8・15と私

字数 700字 (2分の1ページ)

1400字 (1ページ) の2種

近況報告

字数制限はありません

原稿〆切 2005年10月31日

編集の都合上、字数・期限をお守り下さい。

送付先

780-0850

高知市丸の内二丁目1-10

高等学校教職員組合気付

高退協事務局

### 夏季学習講座盛況

毎夏恒例の夏季学習講座が8月26日午後3時より高知城ホールで開催された。参加者は50名余の大会にのった。用意してあった椅子も足りないほど。

最初の講師は、医療生協ケアマネージャーの重光広子さん。ご自分の関係した訪問介護等の具体例を報告。給付の締め付けが厳しくなつて、今回の介護保険の見直しが実際の必要にそぐわなくなつていくの危険を述べられた。

次の会員講師中村正博さんは、中国未踏峰「冷龍嶺」初登頂の成功を、ビデオを示しながら語られた。ザイルやピッケル、アイゼンもご持参で、登頂の苦労話もなまなましく会場からはしきりに感嘆の声があがった。これを目的の参加者も多く、皆興味津々であった。

### 旅の案内

昼食会 10月12日(水)

中土佐町久礼 黒潮本陣

親睦旅行

11月10日(木)11日(金)

熊野古道 白浜温泉

南方熊楠記念館 精進料理

詳しい案内を同封します。

### 会費納入についてお願い

本年度も残り少なくなりました未納の方は、年会費2000円の納入をお願いします



### 老声

この夏は病気をしながら、三冊の本の刊行に関係してきた。「高知県卓球80年史」、土佐市で刊行する「語り継ぐ」元戦士達の証言」と「高知・20世紀の戦争と平和」である。このためには高知県のすべての市町村史の戦争関連の記述を読むこととなった。憲法問題の講演原稿・連続学習会の資料作りにも追われた。池川町での講演テーマは「憲法を学ぶことは市民として成長すること」であった。国民が主権者でなかつたことが歴史の悲惨を招いた。今度こそ主権者として成長し、平和憲法を選び取りたいという思いからであった。盲学校関係の全国理療教育研究大会でのテーマは「8月15日にさかのぼって」戦後70年を迎えられるか」とさせてもらった。

危機感の深まりからである。その間やはり季節は移り変わりつつあった。気がつくと沢山植えた「ゴーヤ」は枯れ始め、オクラも全盛期を過ぎた。彼岸に向けて畑の準備が忙しくなってきた。日照りも続き、では悪かったが「百姓の来年」でくじけずにはまた頑張ろう。憲法問題も政治の動き・マスコミ報道を見ると暗い気持ちになる。しかし、ここでくじけてはいけない。澤地久枝は「九条を守って1ミリもひかず」と、また鶴見俊輔は「平和をめざしてもろろくを盾として戦争に反対し続ける」と気迫のこもった宣言をしている。「あらためての『窮境』より」(「世界」04年8月号)以来、誠実な言葉で私たちの胸に迫ってくる大江健三郎は、「人権の制約を受忍しない覚悟」を呼びかけている。

人間は大きく育つ木。芽を出し、平和の大きな森を作る。その構成員として闘い、学んでいきたいものである。学習に敗北はない。

(8月28日 田所金久)



高知高退協事務局  
2005.9.20  
No.136

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1-10  
TEL 088-1822-16822  
TEL 088-1822-11893  
郵便振替口座 01655012111893

### 相撲ミニ知識 (六十六)

林 勤

#### 年寄株

年寄名跡とか親方株等とも言われているが、一般市場で売買換金できるものではなく、親方となつて相撲協会に残れる証の「証書」である。

本来は、先代親方の老後や遺族の面倒を見るということで弟子が株や弟子、部屋等を譲り受けていたが、現在は定年(六十五才)となつた親方から買うのが一般的な仕組みになつている。その値段は報道によれば一億円を超えるとも言われている。たまたまの例であるが、大鵬さんの婿養子となつた元貴闘力の大嶽親方のように、親方の娘さんと結婚して親方株をいただくのが一番良い(大鵬親方の名跡は一代年寄りであつたので大鵬の定年退職でその名跡はなくなつた。従つて大鵬の持ち株であつた「大嶽」を娘婿に譲つた)。

しかし、購入、婿入り、何れにしても、株を取得して親方となるには一定の資格が必要である。それは、①日本国籍を有する、②「一、三役を二場所以上、口、幕内通算二十場所以上、ハ、幕内と十両で通算三十場所以上、の実績を有する」、③年寄株はなくても、横綱は五年間、大関は三年間、現役名のまま親方として残れる。等である。なお、部屋を継承する場合は、これよりも少し緩い条件で株の取得ができるが、複雑になるのである。

### 活動日誌

〈7月〉

- 19日 第3回事務局会
- 22日 山崎茂樹さん葬儀
- 24日 川村賢一さん葬儀

〈8月〉

- 14日 8・15のつどい
- 16日 第4回事務局会
- 26日 夏季学習講座

〈9月〉

- 11日 9・11平和の日
- 13日 四プロ代表者会
- 20日 第5回事務局会

ここでは省略する。

ところで、年寄株は昔から百五と決まっていた。故貴ノ花の二子山、朝潮の高砂、千代の富士の九重、等。八月現在では百四の株は既に誰かが取得しており空き株は僅かに一つである。今後引退した力士が年寄株を取得して協会に残る途は、①残る一つの株、又は親方の定年退職で空き株になるものを取得する、②現役力士が取得している株を一時借用する、③右に述べたように横綱は五年間、大関三年間、現役名で親方として残れる、④それ以外では、協会に認められ準年寄として一年だけ残る途がある。但し、準年寄の定員は五名であるが、現在既に一名いる。等であり、今後新たに親方になるのはなかなか厳しい状況である。ところで、年寄株を持つことと「部屋持ちの親方になること」は同じではない。年寄(親方)は現在百七人(右に述べた年寄株の所有者百四人、一代年寄二人(北の湖、貴乃花)、元横綱一人(武蔵丸)であるが、相撲部屋は五十四である。後の五十三人は部屋付の親方。例えば、貴乃花部屋では常盤山(元隆三杉)、音羽山(元貴ノ浪)の二人が部屋付きの親方である。勿論、部屋付きの親方がいない部屋もある。

### 老



### 眼



### 鏡

#### 『合成洗剤 恐怖の生体実験』

山本晶子

この書は合成洗剤研究の第一人者、坂下栄博士によつて書かれたものである。

洗剤には、衣類や食器を洗浄する役目の界面活性剤が含まれている。界面活性剤には、せっけんによるものと、石油から化学的に合成される合成界面活性剤の二種類がある。せっけんは、百パーセント分解されるので害はないが、合成洗剤(合成界面活性剤を配合して作り出した洗剤)は、分解が難しく自然を破壊し、生物の生体メカニズムを破壊する。

ラットによる実験で、皮膚障害、内臓細胞の破壊、胎児への悪影響、環境への影響が明らかになっている。

具体例をあげると、合成シャンプーの原液を直接、頭頂部にふりかける人が多く、これが毛根部の細胞を破壊し、抜け毛やかさぶた、白髪の最大原因になっているという臨床例も示されている。合成リンスや歯みがき剤にも合成界面活性剤が入っている。また手荒れ、ひび割れ、湿疹などの皮膚障害の徴候が現れた時には、内臓細胞が破壊され始めているとも述べている。(胎児への悪影響、環境への影響は紙面の都合で割愛)

このような事実を知つてからは、とても合成洗剤を使う気にはなれない。私は、食用油をリサイクルして作った生協の「おおぞら」を洗濯に使っている。お風呂の残り湯を利用すると汚れがよく落ち気に入っている。台所では、油污れの皿のみ紙で拭き、固形せっけんを少しつけて洗うだけで合成洗剤は使わない。歯みがき剤もシャンプーも自然の物を使っている。

#### 丸谷才一著『ゴシツプ的日本語論』

津野幸右

この本は様々なゴシツプを材料にしなが、日本語について考える方法論としての、大変面白い切り口をたくさん示してくれている。巻頭二番目の「ゴシツプ的日本語論」は、昭和天皇の言語能力、文芸評論家の文体、機械類のマニユアル文章などに関するゴシツプを紹介しながら「二国の運命は、政治と経済によるだけではなく、言語による所が極めて大きい、あるいは政治と経済を言語が支へてゐる。言語教育は国運を左右し文明を左右する。」ことを力説している。

昭和天皇の例。皇太子であつた時受けた教育に重大な欠陥があつた。教育係が「皇太子にとつて何より重要なことは、物事を論述する力であるといふことを考へなかつたらしい。」何を大事にしたかという、明治天皇型の帝王を空想的に思い描いて、臣下に向かつて威圧的に語る寡黙的な君主に仕立て上げようとした。その結果、天皇は何を語つても言葉が足りないし、使う用語は適切を欠き語尾がはつきりしないし、論旨の方向が不明な方になつた。だから拝謁した首相や参謀総長は御前を下がつて、何を言われたか揣摩憶測して、いい加減な結論を出さざるを得なかつたのではないか。今次大戦の開・敗因の重大な一つとして昭和天皇の言語能力の低さが上げられる。

日本語問題を余新味のある角度から考察して大変新鮮な感じがする本です。



### 計報

山崎茂樹さんが7月20日逝去されました。

川村賢一さんが7月22日逝去されました。

慎んでご冥福をお祈りします。

### 会員名簿の訂正とお詫び

係りの不注意で会員名簿の索引欄のアイウエオ項目と氏名が一致しない部分があることをお詫びいたします。又、次の方の氏名と住所が間違っていますので訂正をお願いします。

氏名 大南 富  
住所 大阪府三島郡島本町青葉3丁目2-13-202

奈良寺田塚

坪井 幹之

「鉄塔めぐり」その一

今回は送電線「下知連絡線」の一八号から二四号までの鉄塔の道を紹介してみよう。

観月岡地に鎮座する石鐘神社から尾根筋を登りきると「鉄塔一八号」に出会う。さらに坂を上ると狭い車道に出る。高知市のハイキングコースである。右折して東進すると宇津野に降りる一の谷コースとの分岐に出会う。さらに東進、尾根道を詰めると「鉄塔一九号」が険しい山頂に立っている。やや引き返して竹藪の急坂を下ると三石仏の立つ「大門」である。ここから三谷の集落を抜けて椎野峠に向かう。途中に松尾城跡に立つ「鉄塔二〇号」がある。この城跡「三谷公園」から見て展望はよい。高知市街が一望される。ひと休みしたら、この上の一軒屋近くで車道に並行する旧道に入る。こ

こは、なかなかわかりにくい。よく調べるのだ。昔の峠道であろうか現在の車道と並行している。この道に出会えば迷うことなく「鉄塔二二号」を通って北山スカイライン沿いの「鉄塔二三号」に出る。ここも眺望の広がる高台でひと休みによい。ここから送電線の方向に向かつて道を進る。登り口がわかりにくい送電線の方向に慎重に進めば「鉄塔二三号」に出会える。ここからは椎野峠越えの車道になる。すぐ下が七ツ瀧神社の鳥居である。降り道の望六峠への途中で「鉄塔二四号」を往復、峠の茶屋を経て、嘉助道を下りれば奈良寺。これで今回の鉄塔めぐり終了。七つの鉄塔が確認できれば合格である。

ウォーキング「鉄塔めぐり」はハイキングの一種であろうが、やや冒険の味つけがあるところが面白い。すべての登山の醍醐味は冒険にある。

夏草や 鉄塔台に 寂の空



高教組だより



全国教研に参加して

高教組 渡辺 住香

八月十八日から四日間、全国高教組が大坂で開催されました。高教組からも二人のレポーターを含め十四名が参加しました。

初日の全体会で行われた窪島誠一郎さんと安斎育郎さんの対談が特に印象に残っています。戦火に散った画学生の絵を「無言館」という形で残している窪島さんと、戦争と平和の姿を伝える国際平和ミュージアムに「無言館」の絵を展示する安斎さんの対談は「無言館」の絵から私たちが出すことを求められていることとは何だろうかという窪島さんの問いかけで始まりました。

窪島さんは無言館に残された絵の持つ「静けさ」、濃密な愛に囲まれた一人を愛する静けさ」を強調しました。それらの絵が「反戦平和の画学生」の絵



という性格のものではなく、それぞれ愛するものを残して戦地へ赴かねばならなかった画学生たちの形見であり、自己表現であったのだと語りました。それを受け安斎さんはその意味を繰り返して問い直していくために平和ミュージアムにも展示する意味があり、静かな空間の中で、その人々の生き様と向きあい、描きたいという思いがなぜ達せられなかったかということに思いをはせる場でもありたいと述べました。そしてその思いから、平和とは「戦争がない」というだけでなく、自己表現が豊かに保障される状態であり、その意味で憲法・教育基本法は重大な争点であると指摘しました。

この対談を聞き、京都で行われていた「無言館の遺された絵画展」を見てきました。様々な思いの込められた絵を見て、改めて平和について考えさせられ、充実した時間を過ごすことができました。

川柳 小澤 幸泉

選 集 ①

一 咬き・証し・探す

ご好意を採す命の糸電話  
それぞれの歴史を黙に刻み込む  
少年の肌ははげしく夏を待つ  
人生の流れにすねる石ひとつ  
しばらくは不倫にあそぶ旅の宿

民度の成熟度



総選挙は、自民のみで三百近くです。単独で過半数の勢いと報道に腹を立てたもののこの始末です。

小泉戦法が功を奏しました。郵政民営化是非を問う、改革の前進か後退か、内容は別として言葉は分かりやすいのが効きました。解散のやり方、反対派議員の切捨などの手法に実行力を見たのでしょうか。

さらに、構造改革という言葉の向こうに、今の閉塞状況打開の灯火を見ているのでしょうか。有権者に、四年間の小泉政治のあり方、財政赤字、福祉、憲法、外交などに全く無頓着に自民党に投じた人が多かったのは残念の限りです。また、自民党をぶつつぶす発言以来の小泉、パフォーマンスに喝采をおくる部分があることも否めません。

民主党の迷走ぶりは、自民の独走を後押しした結果になりました。共産党は、「確かな野党が必要」と提起をしましたが、小泉風の前線に辛うじて現有議席を守りました。終盤六位を争っていると言われた四国比例も、結果は水が大きく空いていました。捲土重来、各地での地道な活動をしての頑張りを期待します。

書いているうちに、若草町のT老の顔を思い出しました。「正論を主張する共産党が伸びるのは、日本人がわかっちゃらんが」といつている方です。また講釈を聞かねばなりません。

民度の成熟度、まだまだの日本ということになるでしょう。(一)

短歌

八月も終はらうとして

榊原忠彦

反戦をうたふにあらねど素直なる  
違和感超えての「戦死やあわれ」  
〔竹内浩三の詩と死〕を思ふ  
〔註〕「戦死やあわれ」のあわれは原詩のまま

上林を私淑するころに春かれつ  
三浦の新著一息に読む  
〔三浦哲郎「恩愛」 世界文化社刊〕

小泉は頼朝かと思ふ権力志向ゆ  
ゆしきかもよ独裁者の道

六十年目の夏

叶岡淑子

ほとぼしる紅の書は人間の命  
の叫び伝えて熄まず  
〔高松紅真「終戦・被爆60年、平和祈念書展」〕

六十年焼けただれたる背中もて  
闘う人を胸熱く視る  
〔八月九日、NHKスペシャル「赤い背中」〕

歌声よ今こそ起これこの国の六十年  
年目の夏たけるとき

水頭症の子

山本晶子

今もお水頭症の子が生まるベト  
ナム戦争終りて三十年

警察署の横の川べりにいつもいる  
ホームレスの男、こはんはどうして  
てる

九条の署名を頼めば月五万の年金  
どうにかしてくれろとぞ

本を紹介

「高知・20世紀の戦争と平和」  
「高知・空襲と戦災を記録する会」編

第二次世界大戦時の体験やその後の高知の平和運動などをまとめたもの。

高退協の皆さん、ぜひ読んでください。税込み一千三百円。問い合わせは高知市升形の平和資料館「草の家」(088・875・1275)

内なる平和

山本景子

このころ、苦しい話を聞くことが増えています。親しい女友達からの助けて！の悲鳴の音が高く耳に入ってきて来ます。現役中の若い友人は過重労働に喘いでいます。脳細胞。パンク寸前！居眠り運転やら居眠り労働が続いて、危うく過労死寸前！まで追い込まれていました。

夫のいない長女宅も同様、思春期の子どもに振り回されて、めっそうも無く気を使つて、台所で事故を三回も繰り返す羽目に追い込まれたり……。働く女性たちの疲労は我が身を切り刻んでいます。また、労働の一端を退いた熟女たちから幸せが逃げています。時々恐ろしい本音を聞かれます。夫から離れたと言います。普通に幸せに見える顔からその声を聞

俳句

8月6日(土)

高知市(旧鏡村) 穴川 樽の滝

合田青幹

杉美林育てし山の岩清水

突兀の岩より滝の現れし

吉本伸秋

原爆忌狐の剃刀昼灯す

道曲るたびに明るし花さびた

中内英明

急ぐ人を避けて通せる滝の道

滝風を浴びて濁世に戻り来し

中内みち代

滝仰ぐ二の滝頭男立っ

帰るさにかかなか時雨高曇り

小笠原さちを

青道草古き木橋を渡りけり

岩を縫い朽木に弾け水の秋



と、案外似たような思いをしてる女性が多いと推測します。別れる！出て行く！死にたい！、殺したい！まで言ってしまう女たちの声。これは普通ではありませんが、今、私は小説を書いています。怨みは短い間のことでなく、夫の知らぬ(妻を)間の妻を傷つける言動が妻を変えて行く悲劇です。男が女を大切にすることに気遣わない習慣のある家。なぜでしょう。表で立派なことを言っても我家で変身する男たち。

「まあ、そう言つてもね。えい所もあるし許しちやいや」女たちは互いに励まし合つて悲劇の起こらぬ努力を陰でやつておられます。女たちは男たちに耐え過ぎています。もっとエロスの愛とアガペの愛を思い起こし、愛する言葉と行動を勿体振らずやつてみませんか。社会の平和の基は愛から始まりませんか「平和・平等・愛」はセツトになつて人々を幸せにします。戦争反対は外ばかりに向かわずに……。我家の女たちにも真直ぐな目を向けて……愛して欲しい！

私の健康法

食の安全こそ全ての源

松岡祥子

「えー！インスタント！」これは私が大学一年生の寮生活で体験したひとこまからです。限られた食事、しかし体育大学の生活は空腹感もひときわでした。インスタントラーメン。「三分間待つのだよ」。蓋をして伸びたラーメンをおいしそうに食べる同室の友を羨ましく思ったことがあります。しかしアルバイトでその製造過程に出会ったとき「こんなの食べていたらひよつと身体にはよくないのでは」とよぎつたのです。専門教科の知識からでしょうか……以来食には徹底的にこだわってきたのです。

食卓には手造りを！。そして自然に近いものを。このこだわりは退職をすることで益々徹底してきたのです。夫の定年退職にあわせ定年を二年も早く退職したので、ここで病院にお金は使えない。それなら有機肥料の無農薬野菜を作つて、より健康な身体をと思ひ少々の畑を耕すことにしました。教科の専門

第14回全退教四国ブロック交流集会

昨年は高知が担当で桂浜に100余名が集いました。今年は愛媛で開かれます。参加希望の方は、ご連絡下さい。要綱を送ります。2005年11月8日(火)・9日(水) 今治 湯ノ浦ハイツ テーマ「仲間と共に豊かな生き方を」 参加費 11000円 事務局長 原 淳 0887521666

朝倉九条の会からのお知らせ

九条の会から第二回勉強会が決まったとの参加要請がありました。日時・十月四日、午後七時より 場所・朝倉ふれあいセンター 講師・根小田高知大人文学部長 演題・アメリカの対日政策と日本国憲法

書から野菜作りの専門書に替え愛

読するようになり、土を作ることから始めました。無農薬、有機野菜はどんな味かな？太陽の真上に上がった時間帯の畑仕事。近所の農家の方は見えない。いつ農作業をしているのかな、疑問を持ちながら。「実は皆さん、太陽がでると同時に仕事をしていたのです」早朝の出勤時間から解放された私たち夫婦は、時間に縛られないで、自分の体調に合わせて決めた出勤時間で畑に出て「見つけた虫は取り除き牛糞、油かす、米ぬか」等を中心にしていく甘い野菜は身体の中から健康にしてくれているのだと信じて作っているのです。身体にいいのではないだろうかと思ふ野菜(ヤーコン等)を積極的に作り、友達にも食して楽しんでもらう。畑仕事のひとつ一つが、衰えていく体力の低下を押さえてくれている実感は、学生時代からモットウとしていた「食の安全こそ健康の源」がより確実なものとなつています。この私の健康法を皆様にもお勧めしたいと思つてます。



高齢者の主張大会

2005年10月8日(土) 高知城ホール 13:00~16:00

浅井基文さん

とき 9月24日(土) 午後2時~4時半 ところ 高知城ホール 参加費 500円

記念講演会

「九条改憲阻止 一内外情勢と私たちの課題」 広島平和研究所所長

